

活性化モデル商店街の概要

商店街名：末広町商店街振興組合

●キャッチフレーズ

取り戻そう賑わい！思い出そうふれあい！

◎商店街の将来ビジョン

【現状と課題】

- ・ 末広町商店街は、名鉄瀬戸線の尾張瀬戸駅周辺を中心市街地に位置しており、周辺では、ArtWalkホウボウ、クロガネモチノキといった地域住民が主体となったものづくりイベントが開催されているほか、新世紀工芸館、瀬戸染付工芸館といった研修・展示施設も充実している。
- ・ また、商店街周辺では平成29年6月にもものづくりを生業とする人たちを支援する施設として「せとまちツクリテセンター」が整備され、若いツクリテの商店街利用が期待されるほか、周辺小中学校の統廃合に伴う小中一貫校の開校が平成32年4月に予定されており、商店街が地域の子供たちの通学路として活用されることが予想される。
- ・ しかし、若い店主による積極的な活動は見られるものの、商店街全体としては、店主の高齢化・後継者不足等に伴う店舗数の減少と顧客の高齢化に伴う客数の減少により、イベント開催時以外の平常時の賑わいは低迷している。

【対策】

- ・ イベントの開催などにより、魅力の発信と市内外の誘客を図るとともに、せとまちツクリテセンターとの連携などにより新たな来街者を呼び込む。
また、地域に根差した事業展開、店主と来街者との「ふれあい」の強化を行う。

◎具体的に取り組む事業内容

○取り戻そう賑わい！思い出そうふれあい！事業（29年度～32年度）

- ・ ツクリテとの連携を強化し、新たな客層の誘客を図る。（30年度）
- ・ 子育て世代にターゲットを絞ったイベントの実施や売り出し方法を検討・実施する。（31年度）
- ・ 前年度に引き続き、子育て世代にターゲットを絞ったイベントの実施や売り出し方法を検討・実施する。（32年度）